

令和5年度 立川市立第八小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ○よく考え実行する子ども ◎心豊かで思いやりのある子ども ○心も体もたくましい子ども
---------	--

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え、正しく判断し、実践する力（知） ○いつくしむ心で、人・物・自然と関わる力（徳） ○心身ともに健やかで、粘り強くやり抜く力（体） 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、「できた・わかった・また明日も学校に行きたい」という気持ちをもたせ、自信をもたせる授業づくり。 ・「立川スタンダード20」に基づいた、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善。 ・地域の教育資源を活用した体験活動の充実。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○丁寧に文章全体の構成を捉えて読み取り、自分の考えをもつ力 ○目的に応じて、自分の考えを筋道の通った文章で表現する力 ○正しい漢字や言葉、語句の構成等を理解する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や要旨を捉えたり、文章構成をまとめたりする活動を重点的に取り組ませる。また、友達と考えを交流する時間を確保する。 ・新聞やパンフレット作り、報告文など課題について調べ、目的や意図に応じて書き分けられるようにする。 ・漢字の意味も理解させながら、書く指導を充実させる。また、読書や暗唱を通して豊かな言葉に触れ合う時間を増やし、語彙を増やす。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を正しく読み取り、調べたことをまとめる技能 ○社会へのかかわり方について考えたことを適切に表現する力 ○すすんで調べて問題解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な資料の読み取り方を確認する。 ・学習内容を、各種資料とニュースや日常生活と関連付けて考えさせることで、学習の理解を深める。 ・学習課題に即した自らの課題を見付け、調べたことを新聞やレポート形式にまとめ、表現する機会を設定する。 ・導入時に、児童が「調べたい」と思うような資料提示や授業の展開を工夫し、疑問をもとに児童自ら学習課題を立てられるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な計算力 ○数学的な見方・考え方を働かせ、筋道を立てて考察する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の手順を確実におさえ、一人一人の計算力を高める指導を行う。 ・個に応じて具体物を操作したり図を用いたりして、視覚的に問題場面を捉えられるようにする。 ・問題場面を式・絵・数直線・図等に表示して、数量の関係を確かめて問題を解くことができるようにする。 ・習熟度に応じて前の学年の内容に戻って補充的指導を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○観察・実験の基本的な技能 ○理科の学習を生かして問題を解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れ(問題→仮説(予想)→観察・実験計画→結果→考察→結論)に沿って指導する。 ・各学年で、児童の発達段階・実態を踏まえながら、学習指導要領に即し、特に重点を置いて育成を目指す内容を指導する。

生活	○活動したり体験したりしたことから、自分とのかかわりへの関心につなげていく力	<ul style="list-style-type: none"> ・あさがおやミニトマト等を育て、日々の成長を観察することで、自分自身の成長にも気付けるようにする。 ・学校探検や町探検、地域の人との交流など具体的活動や体験を増やすことで、自分との関わりに気付いていけるようにする。
音楽	○音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かにかかわる力	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を聴き取る力を身に付けられるよう、ICTやワークシート、身体表現を取り入れながら段階的に指導内容を設定する。 ・思いや意図を表現に生かすことができるよう、「考える⇔試す」を繰り返し行う時間や場面を設定する。
図画工作	○造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かにかかわる力	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に表現したり鑑賞したりする活動を通して、つくりだす喜びを味わえるようにする。 ・作品について自分で考えて決定し、造形的な見方・考え方を働かせる場面を多く設定する。
体育	○跳力、瞬発力など基礎的な体力 ○学び合い高め合う態度	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果を基に、体づくり運動や陸上運動の指導において、跳能力や瞬発力が向上する運動を意図的に設定し取り組めるようにする。 ・学び合いを充実させるために動きのポイントを明確にした学習カードや掲示物、ICTを活用し、児童が相互に声を掛けられるようにする。
家庭	○日常生活に必要な基礎的な理解を図り、それに係る技能 ○日常生活の中から問題を見いだして、課題を解決する力 ○家族また地域の一員としての自覚をもち、生活をよりよくしていこうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> ・調理道具の使い方の学習や裁縫実習など、実践的・体験的な活動を取り入れる。 ・身に付けた知識を活用し、家庭生活、調理の計画、日常着の手入れの仕方、製作計画、物や金銭の計画的な使い方等を考える活動を設定する。 ・自分の生活と関連付けて、学習したことを実生活に生かす活動を取り入れる。
外国語活動	○外国語に慣れ親しむ態度 ○自分の思いや考えを相手に伝える力	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTの発音に触れたり、楽しんで外国語に慣れ親しんだりすることのできるゲームを授業に取り入れることで、外国語に慣れ親しむ活動を増やし、児童の意欲を引き出す。 ・児童が必要感をもって外国語を使いたくなるようなアクティビティを設定し、友達の外語を聞いたり自分の思いを伝えたりしていく活動を通して、相手に自分の思いが伝わる楽しさを感じられる体験をさせる。
外国語	○外国語を用いたコミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた表現を使った単なる反復練習のようなやり取りではなく、伝え合う目的や必然性のある場面を想定することで児童同士のコミュニケーション能力を高める。 ・各ユニットのまとめとして、自分の考えを伝えたり、聞いたりする活動を設定する。